



学校教育の主役は児童であり、一人ひとりを全ての教育活動の根底におかなければならない。児童が郷土に誇りを持ち、自らの夢や希望を抱いて、たくましく・しなやかに育っていけるよう、明るく・楽しく、安心・安全で地域・保護者に信頼される学校づくりを進めていく。

1. 学校教育目標

「豊かな心と たくましい体を持ち 主体的に学ぶ子」

一 心・体・知を磨き 未来を拓く 一
心力 体力 知力 創造

2. 学校経営の基本方針

☆ この学校の児童の「課題とは何か、（その課題を）どうしたいのか」、

また「**どのような子どもに育てたいのか**」をしっかりと持ち指導する ☆

学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校教育目標の具現化をめざし、全教職員が協働して創意と活力溢れる学校経営を推進する。そして、教育公務員としての自覚に立ち、教職員一人ひとりが危機管理意識の向上と学校経営参画意識の高揚を図り、保護者や地域住民の信頼に応える学校経営を推進する。

また、児童や地域社会の実情を的確に捉え、主体的で創意工夫のある教育活動を展開し、自主的・自律的な学校運営を実現する。設置から9年目になる「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を活用し、保護者や地域住民の参画しやすい環境を整え、地域に開かれた学校づくりを推進する。

- (1) 知・徳・体の調和を重視した「生きる力」を育む教育課程の編成と実施
*児童の実態に即した教育指導計画の実践及び評価・改善
- (2) 生涯学習の基盤となる「確かな学力」を育む指導と評価
*分かる授業・課題解決学習の推進 授業前・家庭学習の組織的取組 学力検査等による課題把握の指導
- (3) 集団の一員として自己理解を深めるための「豊かな心」を育む生徒指導
*学級会活動、児童会活動（集団づくり）の充実
*いじめ・不登校未然防止への情報共有及び研修 実践的道德教育の取組
- (4) 「健やかな体」を育むための基礎・基本となる資質や能力の育成
*体育授業を柱とした運動の日常化 健康・安全・食育教育の体系的組織的指導
*保健室を中心とした健康（予防など）に関する情報発信と収集による実践学習
- (5) 安心・安全を基盤とした家庭や地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進
*地域関係団体との連携に基づいた学校安全
*正確な情報の発信と収集・分析

3. 学校経営の指導重点

- (1) 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る学習指導
*学び続け、分かる授業の実践（「できた」「わかった」という子どもたち実感の実現）
- (2) 主体的・対話的で深い学びを具現化した授業改善「確かな学力」を身につける
*考える力・対話を通して、深く考えられる力の育成を図る授業の展開
- (3) 豊かな心を育てる体験活動及び言語環境の整備（人は耳から育つ）
*地域教材の活用授業 読書教育の充実 あいさつ・返事 正しい言葉づかいの励行
- (4) 児童のよさや可能性を引き出す積極的な生徒指導
*厳しさの中にも優しさ溢れる児童理解による指導と支援
- (5) 信頼に応える学校づくりの推進
*地域との連携による学校運営の推進（CS協議会、関係機関）
- (6) 教師としての専門性・指導力を高める校内研究の充実
*教育への使命感に満ち、自己向上心に支えられた校内研究会

4. 令和6年度の重点目標

☆ 全職員がゆとりを持ち、共通理解のもと教育指導計画にあたる。

☆ 全職員が共通理解して、重要項目として取り組む。

(1) 児童の「確かな学力」の向上に努める。～「主体的・対話的で深い学び」の実現～

＊ 基礎学力を定着させる。

＊ 学習ルールを身につけさせる。（時間になったら着席・静かに聞く態度等）

＊ 山梨県教育指導重点の「健やかな体の育成」をもとに、体育の授業や業前の「さわやか体育」などに継続して取り組むことにより体力の向上を図る。

① こどもが主語となる授業を展開するために、授業改善を行い言語能力の活用を意図した学習活動を充実させる。子どもたちが「考える」「考えの交換（対話）ができる」授業を行い、意欲的に授業に取り組む児童を育成する。（「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現）

② ICT 機器を活用し、情報活用能力（情報処理能力から情報編集能力へ）の向上をめざす授業の実施。

③ 「さわやかタイム」を活用して、児童の計算力や漢字力を高めるとともに、意欲的に家庭学習に取り組む児童を育成する。

④ 国語・算数の学習でのＴＴや少人数指導などきめ細かな指導を行う。

⑤ 道徳教育を充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

⑥ 外国語教育の実施に基づいて、各学年の発達段階及び実態に合わせた教育 課程を編成するとともに、授業を充実させ、言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

(2) よりよい生活や人間関係を築こうとする児童の育成に努める。（学校生活の基盤）

① 児童の学校生活の基盤となる学級経営（学級集団作り）において学級目標にこだわる学級づくりをする。

② 言葉遣いに気をつける児童を育成する。

③ 進んであいさつする児童を育成する。（あいさつ日本一を目標！）

④ 大きな声で返事のできる児童を育成する

⑤ 「いじめ」をしない・させない・許さない児童を育成する。

⑥ 特別な教育的支援・生徒指導を必要とする児童の指導は組織的に行う。

(3) きれいで美しく整然とした学校づくりに取り組む。

① 心の和む教育環境づくりに努める。

② 保護者や地域住民と連携・協力して環境整備に努める。

③ 無言清掃に取り組む（児童会中心）

④ 感染症に関する情報の共有と児童への指導及び予防対策に全校体制で取り組む。

⑤ 学校安全（安全教育）と安全管理の徹底を図る。

・安全教育教材を活用した指導（危険予測能力の向上）を行う〈安全教育〉

・危機管理マニュアルの作成と訓練の実施（PDCA サイクルの実施）〈安全管理〉